

ことばと出会う ことばを楽しむ

第1回 10月1日(水) 18時30分～20時

ことばと生成AI

ー デジタル時代のコミュニケーション ー

川添 愛(言語学者) × 井川 壽子(本学部教授)

第2回 10月8日(水) 18時30分～20時

ことばと表現

ー もののあはれと仮名文字の関係 ー

藤井 由紀子(清泉女子大学教授) × 根本 知(本学部講師)

第3回 10月15日(水) 18時30分～20時

ことばと身体

ー からだを通して躍動するシェイクスピアの詩 ー

岩崎 MARK 雄大(俳優) × 伊澤 高志(本学部准教授)

第4回 10月22日(水) 18時30分～20時

ことばと境界

ー アメリカ文学の翻訳の現場から ー

柴田元幸(東京大学名誉教授) × 今井亮一(本学部講師)
ハーン小路恭子(専修大学教授)

第5回 10月29日(水) 18時30分～20時

ことばと箏

ー 詩歌のしらべ ー

福田 恭子(箏曲演奏家) × 根本 知(本学部講師)

募集期間 8月21日(木)～9月16日(火)

応募方法は裏面をご覧ください。 ※1回のみでもご参加いただけます。
※本学学生・教職員は申し込み不要です。

【個人情報保護の取り組み】ご提供いただきます個人情報は、法令等に定める一定の場合を除き、利用目的以外には利用しません。なお、利用目的の詳細につきましては本学ホームページ内の【個人情報保護の取り組み】をご覧ください。
https://www.ris.ac.jp/privacy_policy/index.html

会場 立正大学品川キャンパス
石橋湛山記念講堂
(大崎駅・五反田駅より徒歩5分)

対象 16歳以上の方 受講料 無料 定員 300名

問い合わせ先

品川区文化観光戦略課生涯学習係 TEL.03-5742-6837
立正大学文学部事務局 TEL.03-3492-8791

詳細は立正大学文学部
公式ホームページでも
ご確認ください。



letters.ris.ac.jp

立正大学文学部 検索

令和7年度
立正大学文学部
公開講座

ことばと出会う ことばを楽しむ

ー 古典から生成AIまでー

会 場 立正大学品川キャンパス
石橋湛山記念講堂
(大崎駅・五反田駅より徒歩5分)

対 象 16歳以上の方

受講料 無料

定 員 300名

問い合わせ先

品川区文化観光戦略課 生涯学習係 TEL.03-5742-6837
立正大学文学部事務局 TEL.03-3492-8791

応募方法

WEB登録

品川区ホームページの電子申請ページ
から受講登録(申請)できます。



往復はがき 9月16日(火) 必着

- ①講座名「立正大学文学部公開講座」 ②住所
③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤連絡先電話番号
⑥過去の本講座参加の有無を明記し、下記申込先へ
お送りください。

※一人一枚の往復はがきでお申し込みください。

申込先

〒140-8715 品川区広町2-1-36
品川区文化観光戦略課 生涯学習係 宛

往信用 (おもて)	返信用 (うら)
140-8715 品川区文化観光戦略課 生涯学習係 宛	※返信ハガキの裏面は 何も記入しないで ください。
85 返信	①講座名 立正大学文学部公開講座
郵便番号 申し込みの方の氏名	②住所
85 返信	③氏名(ふりがな) ④年齢
	⑤連絡先電話番号
	⑥過去の本講座参加の有無

募集
期間 8月21日(木)ー9月16日(火)

第1回 10月1日(水) 18時30分～20時

ことばと生成AI – デジタル時代のコミュニケーション –

川 添 愛(言語学者) × 井 川 壽 子(文学部教授)



川添 愛 言語学者

九州大学文学部、同大学院ほかで理論言語学を専攻。2005年、博士(文学)取得。津田塾大学特任准教授、国立情報学研究所特任准教授などを経て、言語学や情報科学をテーマに著作活動を行う。著書に、『言語学パーリトード』『白と黒のとびら』(東京大学出版会)、『世にもあいまいな言葉の秘密』(筑摩書房)、『ふだん使いの言語学』(新潮社)、『ヒトの言葉 機械の言葉』(角川新書)などがある。

第2回 10月8日(水) 18時30分～20時

ことばと表現 – もののあはれと仮名文字の関係 –

藤 井 由紀子(清泉女子大学教授) × 根 本 知(文学部講師)



藤 井 由紀子 清泉女子大学教授

島根県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程(文化表現論専攻)修了。博士(文学)。2010年より清泉女子大学教員。専門は『源氏物語』を中心とした物語文学。おもな業績に、『異貌の『源氏物語』』(武蔵野書院 2021年)、『兵部卿物語全釈』(武蔵野書院 2019年)など。NHK Eテレ「趣味どきっ」シリーズ「源氏物語の女君たち」(2024年2・3月放映)で講師を務める。

第3回 10月15日(水) 18時30分～20時

ことばと身体 – からだを通して躍動するシェイクスピアの詩 –

岩崎 MARK 雄大(俳優) × 伊 澤 高 志(文学部准教授)



岩崎 MARK 雄大 俳優

舞台俳優。5歳から14歳までをカナダとアメリカで過ごす。東京大学在学中に俳優として演劇活動を開始。2014年、シェイクスピアを現代的に上演する劇団Theatre Companyカクシンハンに参加、中心メンバーとして活躍。PARCO PRODUCE、NODA MAP等、外部出演も多数。英語力を活かして、国内外の演劇を利用した教育や社会活動にも取り組み、通訳やイングリッシュコーチとしても活躍している。

第4回 10月22日(水) 18時30分～20時

ことばと境界 – アメリカ文学の翻訳の現場から –

柴田 元幸(東京大学名誉教授)、ハーン小路恭子(専修大学教授) × 今井 亮一(文学部講師)



撮影：朝岡英輔

柴田 元幸 東京大学名誉教授

翻訳家、東京大学名誉教授。現代アメリカ文学の翻訳多数。訳書にオースター『幽霊たち』、ダイベック『シカゴ育ち』など、著書に『アメリカ文学のレッスン』など。文芸誌『MONKEY』責任編集。



ハーン小路恭子 専修大学教授

専修大学教授。専門は20世紀以降のアメリカ文学・文化。単著『アメリカン・クライシスー危機の時代の物語のかたち』(松柏社、2023年)ほか、文学や批評理論などの翻訳を多数手がける。

第5回 10月29日(水) 18時30分～20時

ことばと箏 – 詩歌のしらべ –

福 田 恭 子(箏曲演奏家) × 根 本 知(文学部講師)



福田 恭子 箏曲演奏家

東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流を卒業し、卒業生代表として皇居内桃華楽堂にて御前演奏。同大学大学院修士課程・博士後期課程修了。博士号取得(音楽)。同大学非常勤講師、教育研究助手を経て、現在は福田恭子箏三絃教室を主宰、また箏曲の歴史的研究と演奏の両面から、日本の伝統文化である箏曲の魅力を伝える活動に取り組み、コンサートやワークショップなどを企画し箏曲普及に努めている。